

学校経営の理念

個のよさが 響き合い 輝く 相信相愛の明るい学校

～「かかわり」と「見届け」を基盤とした教育の実践～

令和3年度学校経営ビジョン

石井十次先生の教えが息づく地域の実態を踏まえ、全職員が家庭・地域と連携を図りながら学校教育目標の具現化に向けた組織として教育力を結集する。さらに、「かかわり」と「見届け」を基盤とした教育の実践に努め、「個のよさが 響き合い 輝く 相信相愛の明るい学校づくり」を推進しながら、「生きて働く知識・技能」を習得し、未知の状況にも対応する思考力や表現力等を身に付け、学びに向かう力・人間性を備えた健康で、笑顔と感謝のあふれる明るい児童の育成を目指す。

学校の教育目標

進んで学び 心豊かで 元気な児童の育成

めざす学校像	めざす児童像	めざす教師像	めざす保護者像
<ul style="list-style-type: none"> <li>○明るく伸びゆく学校</li> <li>○生き生きと活力ある学校</li> <li>○美しく花いっぱいの学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで学ぶ子</li> <li>○心豊かな子</li> <li>○元気な子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育に情熱を傾ける教師</li> <li>○指導力の向上に努める教師</li> <li>○見つめ、褒め、励ます教師</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもと共に学ぶ保護者</li> <li>○厳しく躡けて育てる保護者</li> <li>○心に寄り添い伸ばす保護者</li> </ul>

重点目標

重点目標1  
確かな学力の定着

重点目標2  
心の教育の充実

重点目標3  
たくましい心身の育成

重点目標4  
学校・家庭・地域社会との連携

重点目標達成へ向けての実践事項

確かな学力の定着

- ① 日常授業の改善
  - ◎ 文章や問題の読解力を鍛える授業の工夫
  - ◎ 4+4のチェックポイントを基盤とした授業の構築
  - 少人数を生かした「見届ける」指導の徹底
  - 主体的・対話的な学びへ変換
- ② 基礎的・基本的学習内容の定着
  - ◎ 「かがやきタイム」を活用した徹底指導（過去問の活用）
  - 読書の推奨
- ③ 特別支援教育の充実
  - ◎ 迅速なケース会議の開催と取り出し指導の工夫
  - 外部関係機関等の積極的活用
- ④ 一貫教育の推進と外部との連携
  - 穂北中、穂北小との連携
  - 大学や高等学校との連携

心の教育の充実

- ① 基本的生活習慣の定着
  - ◎ 素早く静かな廊下歩行
  - 先取りあいさつや場に応じた言葉遣い
  - 清掃活動による学校磨きと心磨き
- ② 午前中5時間授業への対応
  - 素早い準備と切り替え
- ③ いじめのない学校づくり
  - ◎ 全教師が全児童に「かかわる」
  - 迅速な事態把握
  - ◎ 温かな言葉遣いを意識した学校生活
- ④ 規範意識・安全意識の向上
  - ◎ 登下校指導の徹底(集団登下校)
  - 交通安全及び防災教育の充実

たくましい心身の育成

- ① 基礎体力の向上
  - ◎ 運動時間を保障した体育か授業の充実
  - 体力テストの結果を受けた指導及び個別支援の充実
  - 生活の中でできる運動の推奨（「ちょこっと運動」等）
  - ◎ 昼休みの外遊びの奨励
- ② 健康教育の充実
  - 基本的生活習慣の定着（「すくすくウィーク」の活用）
  - ◎ 衛生的な生活及びコロナ禍での安全教育の充実
  - 職域指導の推進の充実
  - 性に関する指導の充実
- ③ 校内安全教育の充実
  - ◎ 定期的な安全点検の徹底と確実な改善
  - 校内安全指導の推進

学校・家庭・地域社会との連携

- ① 家庭及び友愛園における家庭学習の見届け
  - ◎ 家庭学習の習慣化と充実に向けた保護者への啓発
- ② みどりの少年団による地域への貢献
  - ◎ 通学路クリーン活動
- ③ 友愛園や地域との連携、地域の福祉施設（菜花園）や保育園との計画的な交流（生活科、総合、クラブ活動、他）